

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 環境文化部 文化振興課
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム
施策名	【重点】文化とスポーツの力を活用した地域の活性化

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	179	182	186	190
現況値	176件(2019年度)	実績値	173			
目標値	190件	達成率	96.6%			
備考		達成度	3			

指標名	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	97	121	169	243
現況値	243千人/年(2019年度)	実績値	111			
目標値	243千人/年	達成率	114.4%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

- ・文化を核とした地域活性化促進事業
- ・おかやま県民文化祭開催事業
- ・新進美術家育成支援事業
- ・トップクラブチームサポーター拡大事業

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

文化施策では、感染症対策を徹底しながら、市町村や文化関係団体等と連携し、AIR地域協働事業やアートイベントを企画・実施できる人材を育成する講座など地域資源を活用した各種文化芸術イベントを展開し、地域の活性化の推進を図った。また、県民総参加の文化の祭典である県民文化祭も、コロナ禍ではあるものの、プログラム件数、参加者数とも前年より増加させることができた。

スポーツ施策では、トップクラブチームの応援イベント「県民応援デー」等に加え、ホームゲームへの県民招待や小学生等を対象としたスポーツ教室を実施するなど、スポーツを通じた県民の一体感の醸成やスポーツ活動に取り組む人たちの拡大に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

文化施策においては、今後とも、市町村、関係団体、地域住民等との連携を図りながら、広く県民が文化に親しみ、実践することができる環境づくりの構築を図り、地域の特色や魅力を生かした取組を展開させていく必要がある。また、関係団体と連携しながら、県民文化祭へのさらなる参加を促すことで、将来の文化芸術の担い手確保につなげていく必要がある。

スポーツ施策では、スポーツに関わる人材のさらなる増加に向けて、イベントの積極的なPRやより魅力的な企画内容について、継続して検討していく。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	環境文化部 スポーツ振興課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【重点】生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	40.0	45.0	50.0	55.0
現況値	37.7% (2020年度)	実績値	38.9			
目標値	55.0%	達成率	97.2%			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

- ・ライフステージに応じたスポーツ活動促進事業
- ・ナショナルチームキャンプ支援事業
- ・聖火リレー開催等気運醸成・レガシー創出事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>・レクリエーションスポーツや運動の実践方法等の啓発、スポーツ教室やサークル情報、スポーツイベント情報の提供により、多世代のスポーツ実施率の向上や運動・スポーツの普及を図るとともに、県民の健康保持増進に取り組んだ。</p> <p>・東京2020オリンピック・パラリンピックでは、7か国9チームの事前キャンプが県内で開催され、市町村等と連携し、選手の受入れやサポートに対する支援を行った。</p> <p>・聖火リレーの実施については、コロナ感染拡大に伴い、公道でのリレーを中止した。代替措置として、無観客でのトーチキス（聖火の受け渡し）を実施した。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>・気軽に運動・スポーツに取り組める環境整備や簡単に行うことができる健康・体力づくりを一層推進するため、県民のニーズを把握し、内容や情報提供を工夫する。</p> <p>・オリンピック・パラリンピックでの県内ゆかりの選手の活躍等により、スポーツに対する興味、関心が高まっている。この好機に、関連事業で得られたノウハウの継承も含めて、引き続きスポーツを身近に感じる環境づくりに取り組む。</p>

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室 環境文化部 スポーツ振興課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造	
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム	
施策名	【重点】 トップアスリートの育成・強化等の推進	

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	国民体育大会における男女総合成績(天皇杯)順位	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	10	10	10	10
現況値	12位(2019年)	実績値	16			
目標値	10位台	達成率	※-%			
備考		達成度	※3			

3 関連する事業名

- ・オリンピック・パラリンピアン育成事業
- ・ステップアップ おかやまアスリート事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>・「オリンピック育成事業」では、5競技7名の強化指定指導者を国内トップレベル大会等の現場研修へ派遣し、選手の育成環境の整備に努めた。また、オリンピック強化指定選手25名のうち、日本代表及び日本代表候補8名およびアンダーカテゴリー代表3名が選出された。</p> <p>・「ステップアップ おかやまアスリート事業」では、ボクシング、ウエイトリフティング、フェンシング、スポーツクライミングの4競技団体が共同で体験会を2回実施するとともに、競技団体指導者の専門的指導のもと、普段なかなか触れることのできない競技を延べ約40名の児童が体験した。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>・競技人口の確保に窮している団体も多いことから、本県スポーツ振興の担い手を育成するため、関係機関等とも連携しながら、体験会の継続的な実施と広報が不可欠である。</p> <p>・指導者の高齢化や減少が進み、次世代を担う若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体が増えており、各競技の目標となる選手の育成とその経験を活かした指導者を養成することは、本県の競技力向上につながる。</p>
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 県民生活交通課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【推進】さまざまな分野におけるボランティア活動の支援		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター利用者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	23,000	25,000	29,000	33,000
現況値	32,396人(2020年度)	実績値	25,577			
目標値	33,000人	達成率	111.2%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・コミュニティ活動推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

ボランティア・NPO活動支援センター(ゆうあいセンター)においては、指定管理者制度により県民サービスの向上と経費縮減を図っている。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態措置やまん延防止等重点措置に伴う臨時休館や利用者数の減少などの状況が生じたが、指定管理者において、感染症対策の徹底など適正な管理運営業務を実施するとともに、ボランティア・NPO活動を支援するための特定事業及び自主事業を効率的かつ効果的に行った結果、2021年度の利用者数は、目標数を上回る25,577人であった。

6 今後の施策推進に向けての課題

ボランティア・NPO活動支援センター(ゆうあいセンター)の運営や事業内容の充実に努め、ボランティア・NPOに対しウィズコロナの視点も含めた効果的な情報提供、相談等を行うとともに、これらを支援する組織・団体のネットワーク化を進める必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 男女共同参画青少年課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【推進】「男女が共に輝くおかやまづくり」の推進		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	ウィズセンター利用者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	16,000	17,000	18,000	19,000
現況値	16,781人(2020年度)	実績値	11,678			
目標値	19,000人	達成率	73%			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

- ・DV対策
- ・おかやま☆女性活躍☆生き活きパッケージ事業
- ・男女共同参画ゼミナール事業
- ・ウィズカレッジ事業

4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none"> ・各地域において男女共同参画を推進していくリーダーの養成を目的とした講座(男女共同参画ゼミナール)を開催するとともに、ウィズカレッジ等において女性のエンパワーメントをテーマとした講座を開催するなど、女性の活躍を支援する取組を実施した。 ・市町村や配偶者暴力相談支援センター等の関係機関が連携してDV被害者支援に取り組むとともに、DVに対する正しい知識の啓発と被害者の早期発見を担っていただくボランティアを養成した。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる地域リーダーの確保のため、オンライン方式の講座を増やすなど、引き続き開催手法の工夫を検討していく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響等で、深刻化や潜在化が懸念されるDV被害に係るセーフティネットの充実を図る必要がある。 ・男女が共に輝くための各種施策を推進する総合支援拠点であるウィズセンターの認知度を更に高め、その利用を促進するため、引き続きSNS等を活用した情報発信に積極的に取り組む必要がある。
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名

	担当部課室	環境文化部 文化振興課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造	
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム	
施策名	【推進】文化創造活動の振興	

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数(累計)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	237	357	477	597
現況値	273件(2019年度)	実績値	264			
目標値	870件	達成率	111.4%			
備考	2021年度:537件(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

- ・文化を核とした地域活性化促進事業
- ・企画展事業
- ・普及教育事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>展示内容や関連事業の充実、また、積極的な情報とサービスの提供により、コロナ禍による休館期間があった中、前年度を超える文化施設の利用者数があった。 また、「おかやま文化芸術アソシエイツ」への相談についても目標値を上回る相談件数があった。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>コロナ禍が長期化している中であっても、安心して文化施設が利用できる体制を継続するとともに、さらなる来館を促せるよう、展示内容の充実や、積極的かつ効果的な情報発信に努める必要がある。 また、文化団体等の活動を支援する「おかやま文化芸術アソシエイツ」のさらなる認知度向上に取り組む必要がある。</p>

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	保健福祉部 長寿社会課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【推進】高齢者の生きがいづくりと社会参加活動の促進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	通所付添活動の実施市町村数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1	3	5	7
現況値	10市町村(2020年度)	実績値	1			
目標値	17市町村	達成率	100%			
備考	2021年度:11市町村(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

- ・老人クラブ活動等社会活動促進事業
- ・地域包括ケア体制推進総合事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

社会貢献や健康づくりなどに主体的に取り組む老人クラブの活動支援を行うことにより、高齢者の生きがいづくりと社会参加活動の促進が図られた。
 元気な高齢者が、自力で通いの場等への参加が困難になった高齢者のサポートを行う通所付添活動の取組を進める市町村に対して、サポートチームによる支援や専門家派遣等を行うことにより、新たに1市と既実施市町村の3地区において事業が始まった。

6 今後の施策推進に向けての課題

高齢者が社会の重要な一員として活躍するとともに、地域包括支援システムにおける介護予防等の新たな担い手として活躍できるよう、市町村と連携しながら、老人クラブ等の活動を支援することを通じ、高齢者の生きがいづくりや社会参加活動を促進する必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 国際課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【推進】多文化共生の地域づくりの推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	多文化共生関連事業等への参加者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	3,000	3,500	3,750	4,000
現況値	3,703人(2020年度)	実績値	4,037			
目標値	4,000人	達成率	134.6%			
備考		達成度	5			

3 関連する事業名

・岡山国際交流センター管理運営事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を 平均して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

多言語による生活相談・情報提供のほか、日本語講座の開設や通訳ボランティアの養成等のコミュニケーション支援、各種交流会の開催等を通じた国際理解の促進など、多文化共生の地域づくりを推進した。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後、県内の在住外国人はますます増加することが見込まれることから、社会情勢や地域の実情の把握に努めるとともに、様々なニーズに対応できるよう、事業内容の改善や工夫を図るなど、よりきめ細かに事業を実施していく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室 県民生活部 人権施策推進課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造	
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム	
施策名	【推進】人権尊重の社会づくりの推進	

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	人権啓発講座・研修会の参加者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2,700	2,700	2,700	2,700
現況値	2,492人(2020年度)	実績値	4,684			
目標値	2,700人	達成率	173.5%			
備考		達成度	5			

3 関連する事業名

・人権啓発・研修事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

多くの方が人権啓発講座・研修会に参加しており、人権についての正しい理解と認識を深めることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

新たな人権課題に対する内容も加えながら、引き続き人権啓発講座などを企画、実施していく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	土木部 道路整備課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【推進】おかやまアダプトの推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	おかやまアダプト推進事業新規団体数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	50	100	150	200
現況値	58団体(2019年度)	実績値	80			
目標値	200団体(4年間累計)	達成率	160%			
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	5			

3 関連する事業名

・おかやまアダプト推進事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

おかやまアダプト推進事業を通じ、地域の共有財産である道路、河川、海岸及び公園(公共施設等)の清掃美化活動に取り組む県民は、近年やや減少傾向にあったが、2021年度は前年度に比べ団体数、参加者数ともに増加しており、公共施設等への愛着心を深めるとともに、公共施設利用者のマナー向上が図られている。

6 今後の施策推進に向けての課題

構成員の高齢化や人数の不足により、活動を休止・終了する団体が増えており、今後もこの状況は続くと思込めることから、事業が持続可能なものとなるよう対応を検討する必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 生涯学習課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	生きがい・元気づくり支援プログラム		
施策名	【推進】生涯学習活動の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	生涯学習大学の連携機関数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	105	110	115	120
現況値	98機関(2019年度)	実績値	72			
目標値	120機関	達成率	68.6%			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

・生涯学習センター主催事業

4 施策達成レベル

2.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、参集型の連携講座が減少したものの、オンラインにおける連携講座登録を促進することで、多様な学びの機会を確保し、コロナ禍においても豊かで潤いのあるくらしの創出に向けて、貢献することができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続きオンライン講座を活用するなど工夫を行い、コロナ禍においても県民の多様な学習機会を確保するとともに、学習成果の活用に向けた取組の推進が必要である。